

命を守り育む医師を目指して



# 研修医だより

初期研修医2年目 岩崎 慶一郎

(令和5年3月島根大学医学部卒)



立春の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。はじめまして。浜田医療センターの初期研修医の岩崎慶一郎と申します。この度は研修医だよりでご紹介いただけるとのことで、私の身の上話を、少し皆様に読んでいただきたいと思います。

私は出雲市の出身で、幼少期からずっと出雲で過ごしてまいりました。幼いころは病弱で、たびたび病院にかかり、そこで優しく対応してくださった医師に憧れ、次第に目指すようになりました。体を強くするために始めた野球は大学まで続けました。勝利を目指して仲間と練習に励み、苦しいトレーニングを乗り越えたことは今でも良い思い出です。大学時代には、西日本の医学部が出場する西日本医科学学生総合体育大会でベスト4になることができました。多少の辛いことがあっても、あの時を思えば…と感じることもあるなど、野球を通して得た経験は今でも私の支えとなっています。最近では専ら観戦が主となりましたが、思いは変わらず楽しんでます。

医学部在学中に地域実習として、1か月間浜田で学びました。その際に、指導医の先生方が優しくも熱く指導くださり、また、当時の研修医の先生方が高い学習意欲をもって積極的に働く姿を見て、こちらで働きたいと思うようになりました。早くも入職から一年弱が過ぎました。学生時代に感じた医療センターの魅力はそのままに、学びの多い日々を過ごすことができ、医師としての至らなさを痛感する場面も多いですが、成長できる喜びを感じています。浜

田の地で医師としてスタートを切り、温かい地域の皆様に支えられながら、素晴らしい環境で研修できることを幸運に思っております。

浜田医療センターでは、週に1回、朝に研修医のための勉強会が開かれ、指導医の先生方から専門的な講義を受けたり、研修医同士で日常診療での学びや気づきを持ち回りで発表しあったりします。特に後者では、先輩や同期の考えを学べる実により機会が、刺激を受けています。また、自分が発表する際は、分かりやすく伝えるために考えを整理したり、曖昧な部分を調べたりと自己学習にもつながっています。

現在は初期研修医として、約1か月毎に様々な科をローテーションしながら多岐にわたる疾患を学んでいます。2年間の初期研修後は、夢であった小児科医となり、病と懸命に戦う子どもたちの一助になりたいと考えています。そのためにも知識に貪欲に、精進を続けていく所存です。

最後になりましたが、拙文を最後までお読みいただきありがとうございました。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でございますので、お身体を崩されぬようご自愛ください。